

教科名 「工業情報数理」 単元 「ハードウェア」 ループリック 機械技術科 1年1組 番 名前

学習のねらい・目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータで用いるデータの表し方について理解できる。</li> <li>・2値で演算や制御を行う論理回路の基本について理解できる。</li> <li>・コンピュータの構成、処理装置の動作について理解できる。</li> <li>・入出力装置と補助記憶装置について理解できる。</li> </ul>				
学習評価の観点	評価基準	目標	A すぐれている	B よい	C ふつう	評価理由
知識技能	情報技術に関する基礎的な知識と技術を理解し、情報技術を利用した情報の収集・処理・活用のために必要な技術を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2進数と16進数について理解し、四則計算や変換・計算ができる。</li> <li>・基本論理回路を用いて、半加算回路や全加算回路、エンコーダ・デコーダ・フリップフロップなどを構成する技術を習得している。</li> <li>・コンピュータに周辺装置について理解し、適切に接続する技術を習得している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進数変換と2進数の計算について理解し、正しく求めることができる。</li> <li>・論理回路の基本について理解し、それを応用した各論理回路の真理値表について、確実に完成させることができる。</li> <li>・コンピュータの周辺装置について、それらの装置の構成や働きを正しく理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進数変換と2進数の計算について、正しく求めることができる。</li> <li>・論理回路の基本について理解し、それを応用した各論理回路の真理値表について、完成させることができる。</li> <li>・コンピュータの周辺装置について、それらの装置の構成や働きを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進数変換と2進数の計算について、おおむね求めることができる。</li> <li>・論理回路の基本について理解し、それを応用した各論理回路の真理値表について、おおむね完成させることができる。</li> <li>・コンピュータの周辺装置について、それらの装置の構成や働きをおおむね理解している。</li> </ul>	
5 思考判断表現	諸問題の解決をめざしてみずから思考を深め、問題解決方法を適切に判断する能力を身につけており、情報技術を活用して情報を処理・表現することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10進数の構成から、2進数と16進数の構成が説明できる。</li> <li>・基本論理回路を用いた応用回路について、論理的に考察できる。</li> <li>・RS-FF、JK-FF、T-FF、D-FFの違いを考察できる。</li> <li>・コンピュータにおけるハードウェアの役割としくみを理解し、説明できる。</li> <li>・利用目的に応じた適切な周辺装置を選択し、提案することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進数の変換方法について、論理的に考え、正しく説明できる。</li> <li>・応用回路の使用用途等について、論理的に考察できる。</li> <li>・各FF回路について、その違いを的確に説明できる。</li> <li>・ハードウェアの役割としくみについて、グループで考察し、適切に発表できる。</li> <li>・周辺装置について、状況に応じた使用方法で的確に使用している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進数の変換方法について、論理的に考え、説明できる。</li> <li>・応用回路の使用用途等について、正しく考察できる。</li> <li>・各FF回路について、その違いを説明できる。</li> <li>・ハードウェアの役割としくみについて、グループで考察し、発表できる。</li> <li>・周辺装置について、状況に応じた使用方法で正しく使用している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進数の変換方法について、論理的に考え、おおむね説明できる。</li> <li>・応用回路の使用用途等について、考察できる。</li> <li>・各FF回路について、その違いをおおむね説明できる。</li> <li>・ハードウェアの役割としくみについて、グループで考察し、おおむね発表できる。</li> <li>・周辺装置について、状況に応じた使用方法で使用している。</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	情報技術に関する基礎的な知識と技術に関心をもち、その習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする創造的・実践的な態度を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2進数、10進数、16進数などに関心がある。</li> <li>・基本論理回路とその応用回路、エンコーダとデコーダ、フリップフロップとカウンタなどに関心がある。</li> <li>・処理装置と周辺装置に関心がある。そして、上記の事項について意欲的に学習に取り組み、学習態度は真剣である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進数の変換に関心をもち、積極的に自主的に課題に取り組んでいる。</li> <li>・論理回路やその他の応用回路に関心をもち、難しい回路の課題解決にも積極的に取り組んでいる。</li> <li>・コンピュータの活用について関心をもち、パソコン利用技術検定などの資格取得に向けて、積極的に取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進数の変換に関心をもち、積極的に課題に取り組んでいる。</li> <li>・論理回路やその他の応用回路に関心をもち、難しい回路の課題解決にも積極的に取り組んでいる。</li> <li>・コンピュータの活用について関心をもち、パソコン利用技術検定などの資格取得に向けて、積極的に取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進数の変換に関心をもち、課題に取り組んでいる。</li> <li>・論理回路やその他の応用回路に関心をもち、難しい回路の課題解決にも自主的に取り組んでいる。</li> <li>・コンピュータの活用について関心をもち、パソコン利用技術検定などの資格取得に向けて、自主的に取り組んでいる。</li> </ul>	
指導を振り返って						